

各種クレーンを使用して吊上げ作業をする人は、クレーン本機の運転資格、玉掛資格などの法令を順守して安全に作業してください。



警告

- ブームおよびブレードの穴部にシャックルを通して吊上げる時は、安全のため必ず 2 か所で吊上げてください。
- 作業員を乗せての吊上げは危険ですので行わないでください。
- 吊上げに使用するワイヤロープは本機の質量に対して、じゅうぶん強度のあるものを使用してください。
- ブームのトサカ部の丸棒は吊上げ用に取り付けたものではありません。危険ですから丸棒にワイヤロープを用いて吊上げないでください。

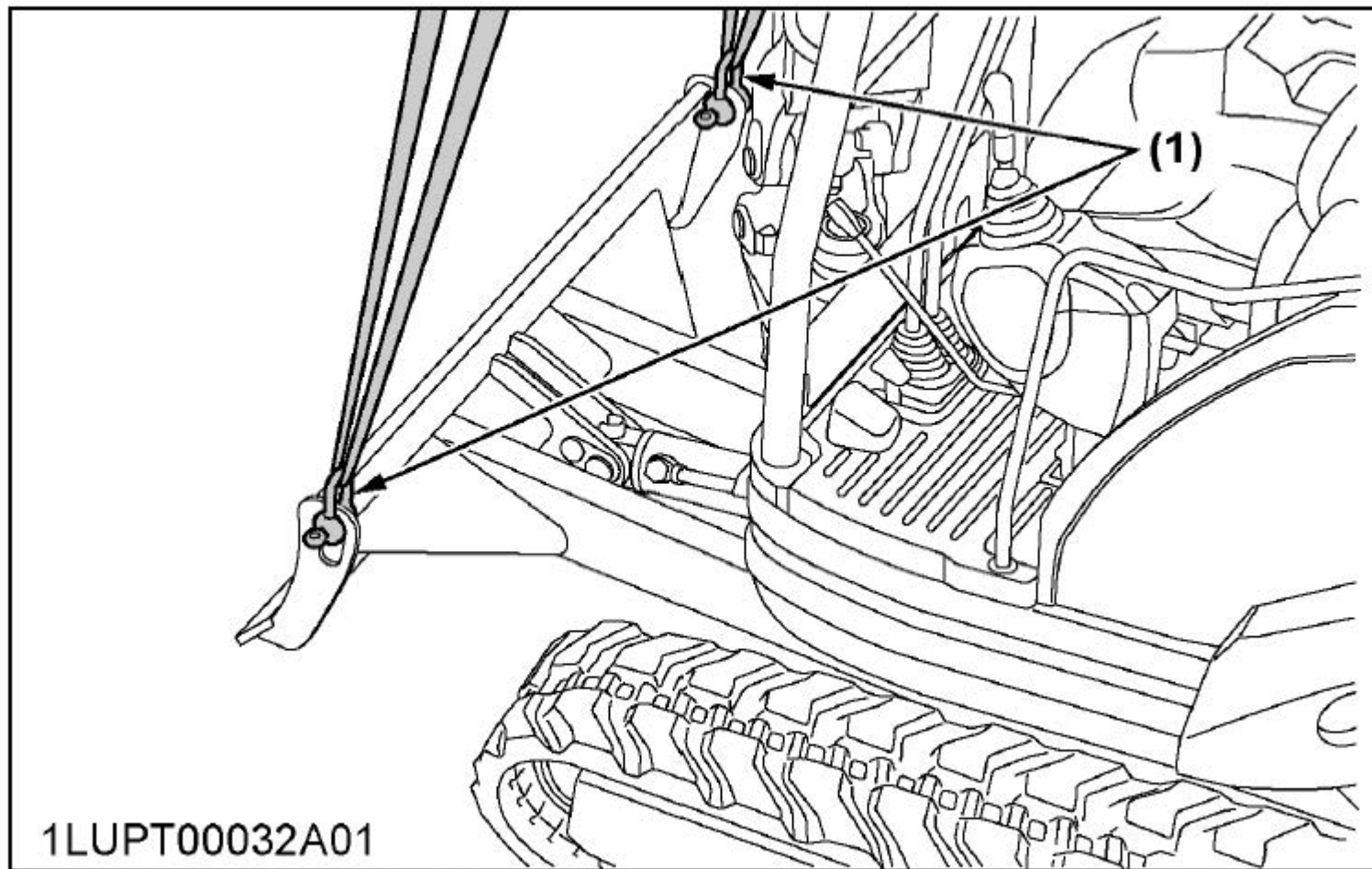
補足：

- 吊上げるときは、重心位置に注意してバランスをじゅうぶんにとってください。
- ブームをスイングさせたり、上部を旋回させた状態にして吊上げないでください。

機体を吊あげるときは、次の要領で行ってください。

1. ブレードの位置が作業機と 180 度逆になるように上部旋回体を旋回させます。
2. ブレードをいっぱいまで上昇させます。
3. ブームを上げ、バケット、アームをいっぱいまでかき込んでください。次に作業機操作ロックレバーを“ロック”位置にします。
4. ブームをスイングさせない状態で、スイングペダルを中立にして、ペダルカバーをかけエンジンを停止します。
5. ブレード両端の穴部にシャックル (3.2 t 以上) を通してワイヤロープをかけ、またブーム上部の穴部 2 か所にシャックル (2 t 以上) を通してワイヤロープをかけます。

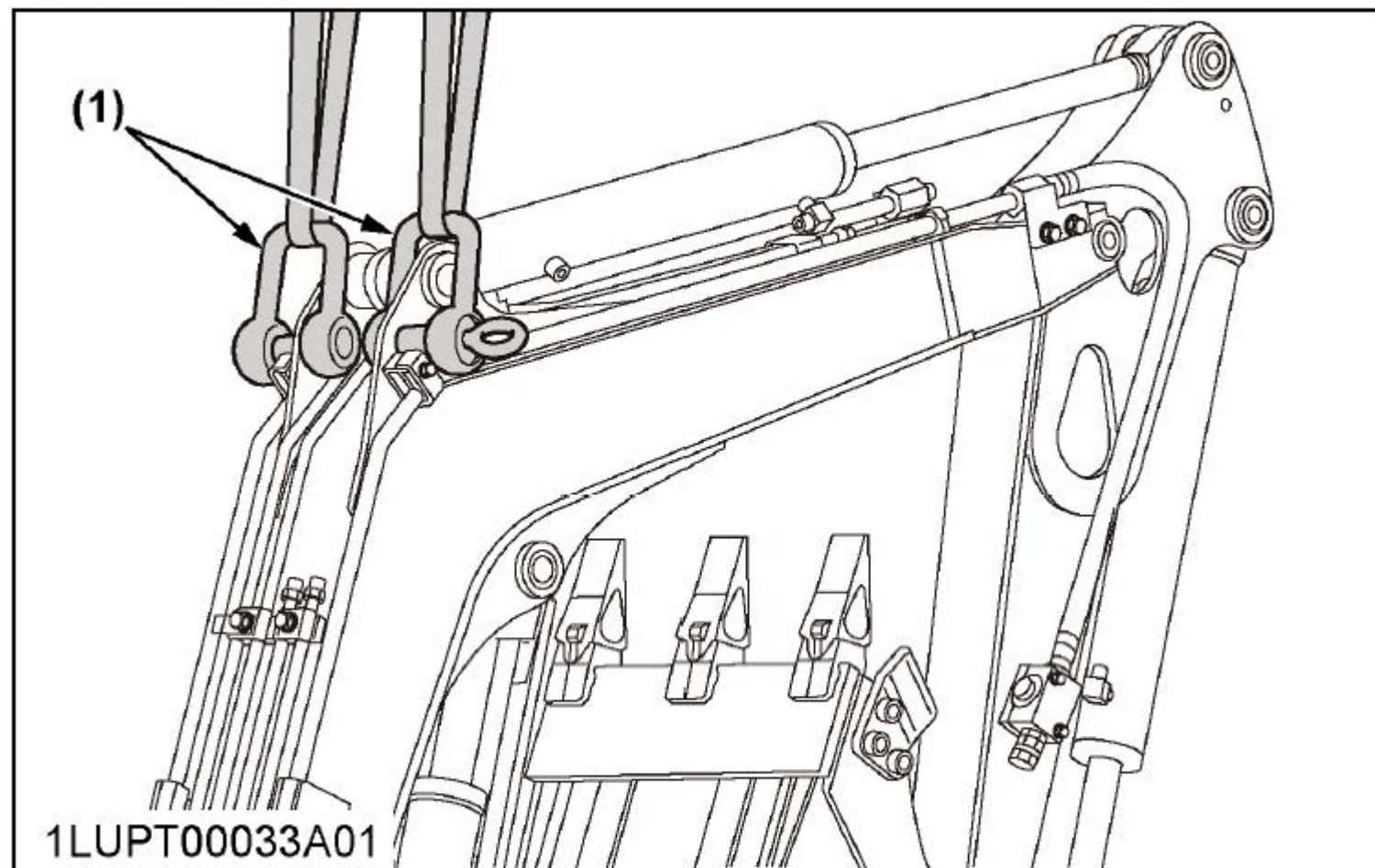
ブレード両端



1LUPT00032A01

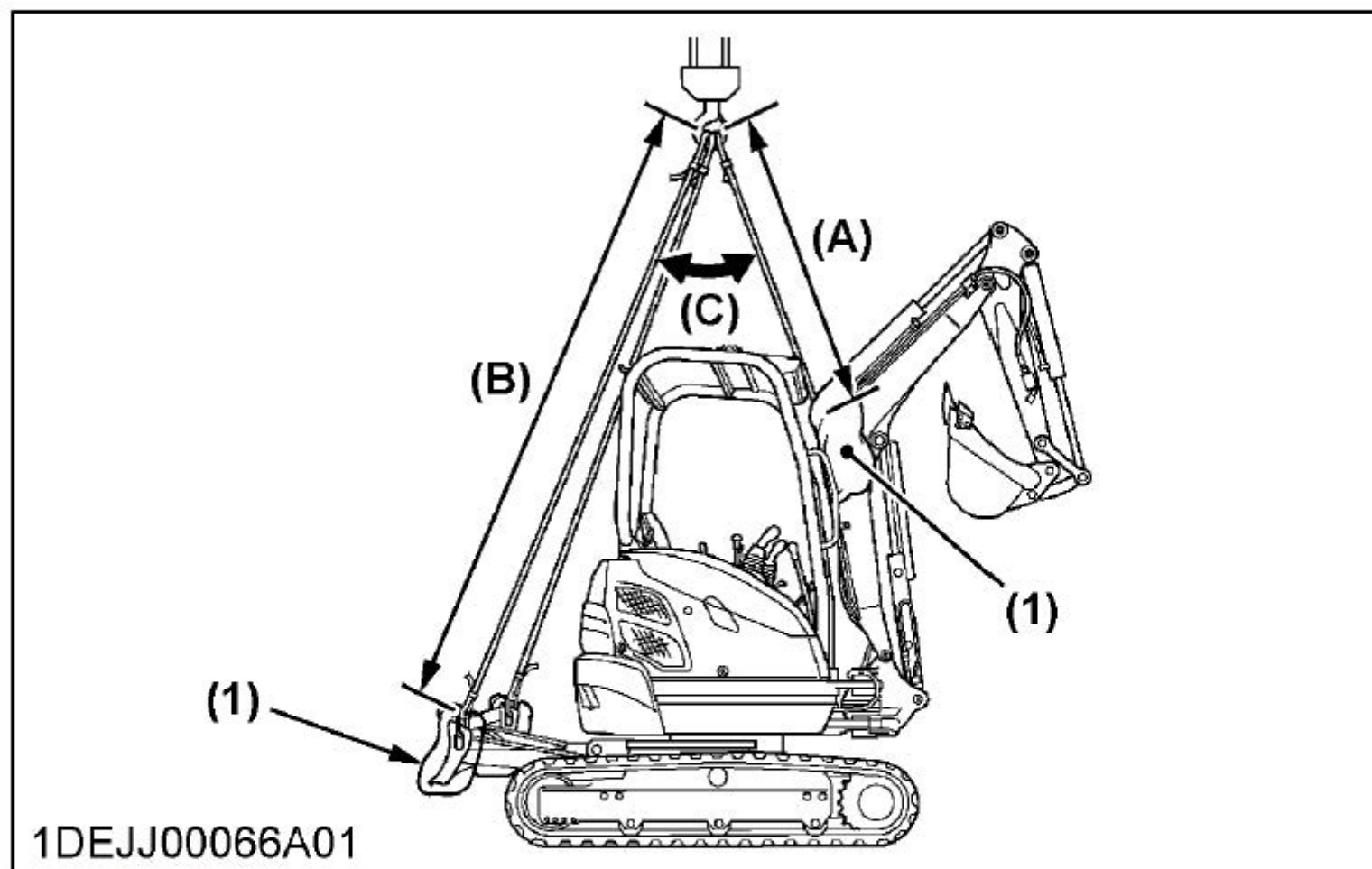
(1) シャックル (2 個)

ブーム上部



(1) シャックル (2個)

6. ワイヤロープの吊り角度を約 30 度にして吊上げます。ワイヤロープの長さは図を参照してください。



(1) 当て物

	(A)	(B)	(C)
U20-3S2	2.2 m	3.9 m	約 30°
U25-3S2	1.9 m	3.7 m	